

推薦します (五十音順・敬称略)

近代を再考する史料の宝庫、軍隊教育

京都大学大学院教育学研究科助教授

佐藤 卓己
SATO Takumi

軍隊と学校と工場は、「規律＝訓練」〈ディシプリン〉装置として「近代化」の象徴である。また、軍艦、飛行機から通信、輸送まで近代軍隊は、テクノロジー・システムである。それゆえ総力戦の技術と精神を体系化した軍隊教育は、近代を再考する史料の宝庫である。「国民皆兵」と「良兵良民」の理念を掲げた近代日本では、軍隊の平時業務とは「国民教育」であった。軍隊教育史料集成がそれと不可分な社会教育・メディア教育の研究にも大きく寄与する所以である。

日本の政治・外交に関与した将校養成教育

千葉大学名誉教授

城丸 章夫
SHIROMARU Fumio

高野邦夫氏は、陸軍と海軍の双方にわたって、軍隊教育を熱心に研究しておられます。今回、戦前の陸海軍の学校についての基礎的史料を収集・選択して発刊されました。戦前の日本の軍隊では、兵営生活から教練演習までのすべてが、同時に軍隊教育そのものだと考えられていました。ところが同じ軍隊教育でも、将校の養成は兵営外の学校で行われました。将校は天皇の統帥権と「教養」の執行者であり、やがては日本の政治・外交・教育を動かすであろう存在だからです。そしてこれは、将校の識見と人格とを決定した軍の学校の研究の重要性を示すものです。本史料集を推せん申しあげるゆえんです。

戦前・戦後国民形成史への活用にも期待

東京大学名誉教授・
民主教育研究所代表

堀尾 輝久
HORIO Teruhisa

高野さんの長年に亘る執念の研究の第一段として、軍隊教育史料集が出版されることをよろこびたい。私たち戦中・戦後世代の少年期・青年期には、陸海軍のエリート養成学校(陸幼・海兵等)は憧れの的であった。戦後はその評価は一変するが、それだけに、軍学校の実態、それが果たした国民教育全体にとっての役割・意義については不明のことが多く、しかも教育史研究の視野からもはずされてきた。本史料集は軍事史はもとより、戦前・戦後の国民形成史の観点からも、大いに活用されることを期待したい。

下士官関係の史料が多いことも喜ばしい

一橋大学大学院社会学研究科教授

吉田 裕
YOSHIDA Yutaka

ここ数十年ほどの間に、軍事史研究は大きな進展をみせたが、その推進力の一つは、教育史研究の立場からする軍隊教育史研究である。今回、刊行されることになったこの史料集は、そうした研究の発展を踏まえて編纂されたものだが、旧帝国陸海軍の将校教育に関する重要な史料を体系的に収録しており、今後の軍事史研究の発展にとって大きな刺激となるだろう。また、個人的には、下士官(少年兵)関係の史料が多いことも喜ばしいことだ。

柏書房の関連史料

文部省編 時局に関する教育資料(全15巻)

山之内靖・監修 大内裕和・解題

A5判上製・函入 総8298頁 定価294,000円(本体280,000円+税)

第一次欧州大戦が生んだ総力戦体制を日本に打ちたてるために編集・翻訳された、文部省内部の教育政策資料を復刻。戦闘員と非戦闘員の区別があいまいになり、前線と銃後の境界が失われる戦争、すなわち総力戦。国民という「資源」の活用効率化を教育政策から目指すため、阿部重孝を含む文部省普通学務局調査委員会が編んだ多彩な欧米資料を初めて公開。80年前の「現代」がここによみがえる。

日本海軍士官総覧

(財)海軍義済会編海軍義済会員名簿
(昭和十七年七月一日調)・復刻版

戸高一成・監修

A5判上製・函入 1547頁 定価33,600円(本体32,000円+税)

総勢1万9300人余。明治初年より昭和17年4月1日までに任官した海軍士官名を貴重な個人情報とともにすべて収録。現存する、最も完全に近い旧帝国海軍全士官名簿。

近代日本

軍隊教育史料集成

(全12巻)

旧帝大に唯一対抗し得た、国家エリートの選抜・教育機関、帝国陸海軍将校養成学校。長年の桎梏から解放された注目を集める、軍隊教育研究の基本史料を集成。儒教か、武士道か、現代日本人のエリートと日本型公教育の底流を新たに探る。

明治期からアジア太平洋戦争の終結まで、近代日本社会の指導者層を形成したのは、旧帝大出身者を中心とする高級官僚(文官)と陸大・海大出身者を中心とする帝国陸海軍の高級軍人(武官)でした。特に昭和期に入ってから、天皇の統帥大権を楯にした統制派武官の政治関与が格段に強まります。

しかし、戦後のタブー視と、資料の多くが敗戦時に焼却・没収されるという制約の中で、丸山眞男らが貴重な指摘を残してきたにもかかわらず、軍隊教育研究は大きな遅れを取ってきました。本史料集は、米国返還資料と個人寄贈を中心とする防衛庁防衛研究所図書館所蔵の陸海軍公文書史料を骨格とし、さらに野間教育研究所、偕行文庫、及び個人蔵の史料を厳選付加し、帝国陸海軍の人材養成とイデオロギー教育の実態を示す一次資料を復刻収録したもので、そのほとんどが未公開です。これらの制度化された軍隊教育を受けたエリートが、戦前のみならず、戦後日本の各所において指導力を発揮したことは論を俟たず、現代社会の特質を考察するうえでも重要な史料と言えます。

本史料集が、教育史、軍事史のみならず歴史学、社会学、法学、政治学などの幅広い分野で注目を集めるものと信じる所以です。

【本史料集の特長・特色】

- ① 民主主義への反動として否定されるにすぎなかった軍隊教育。その実態に迫るための未刊行基本史料(刊行済一部含む)を復刻。
- ② 明治建軍期から、第二次大戦末期の帝国陸海軍崩壊期まで、陸海軍主要学校別に通史と教育理論双方を追えるよう配慮した構成。
- ③ 「明治百年記念復刻叢書」(原書房)に収められた復刻基本史料などとあわせて、旧帝国陸海軍士官教育の通説を実証的に検証可能に。
- ④ 「統帥参考書草案第二案其第一編 一般統帥」「統帥参考書草案其第二章 会戦」など、超一級新史料も収録。

取扱店

柏書房

〒113-0021 東京都文京区本駒込1-13-14
TEL.03-3947-8251 FAX.03-3947-8255
URL: <http://www.kashiwashobo.co.jp>
E-mail: eigy@kashiwashobo.co.jp

お奨めします

- 教育学
- 歴史学
- 政治学
- 法学
- 社会学
- 倫理学

編集・解説

高野 邦夫
(前八戸工業大学教授)

史料解題

原 剛
(防衛庁防衛研究所研究員)

体裁

B5判上製クロス装函入
全12巻・各巻平均約470頁
総5624頁

全巻揃定価

定価315,000円
(本体300,000円+税5%)分売不可

限定100セット

2004年5月上旬刊行

